

## 議員インターンシップを終えて

熊本県立大学 1年 岡村くれな

私がこの議員インターンシップに参加する前は、議員さんと聞くと、堅苦しくて怖い人という印象を持っており、政治への知識がない私に活動内容を理解できるのか不安でした。しかしこのインターンシップで岩田議員の活動に同行し、普段の生活では関わることのできない議員さんと意見交換をすることができ、議員さんに対する印象がとても変わりました。議会傍聴では、私たちにも関係する新型コロナウイルスや教育に関する問題などが取り上げられており、私たちが思っているよりも政治は身近なものではないのかと感ずることが出来ました。

またこのインターン活動の中で、特に印象に残っていることは、岩田議員と教育についての考えを共有できたことです。私が岩田議員と活動しようと決めた一番の理由は、教員という立場で教壇に立っていたことです。現場で働いた岩田議員の助言はとてもの確なもの、教員という夢を持つ私にとって、とても貴重なものでした。これからも夢に向かって、大学生生活を頑張ります。岩田議員に良い報告が出来るよう、日々努力します。

新型コロナウイルスの影響で様々なことが制限される中で、岩田議員と約2ヶ月間活動できたことに感謝します。

## インターンシップを終えて

熊本県立大学 総合管理学部 緒方彩乃

2ヶ月間インターンシップを受け入れてくださりありがとうございました。初めて岩田議員にお会いした時、議員ということで、とても緊張していたのを覚えています。しかし、岩田議員はとても明るく、気さくな方で、元教師ということもあり、住所を見て私たちの出身小学校、中学校を当てられたのはとても驚き、緊張がなくなりました。

このインターンシップで、車椅子講習会や、シンママ支援の活動、八代ボランティア、議会傍聴などをさせていただきました。車椅子講習会では、実際に車椅子に乗り、車椅子使用者の立場に立つことで、私たちが考えているバリアフリーと本当に必要とされているバリアフリーは違い、気づけていない点が多いのだということ学びました。シンママ支援の活動は、私が将来やりたいと思っていることと方向性が同じでとても勉強になりました。支援を受けている世帯だけですが、シンママ世帯がどのくらいいるのか、シンママはどのようなものが支給されると嬉しいのかなど、活動をしたり、支援者の方とお話することで、知らなかったことを知り、福祉のあり方やシンママ支援に対する自分の考えも深まりました。八代ボランティアでは、被災地での災害ボランティアが初めてということもあり、どう動けばいいのか、現地の人とどう接するのが正解かなど、最初はわからないことが多かったですが、作業をしていくうちに、現地の人や、廃材などを運ぶトラックの運転手さんとお話をして、それまで他人事だと思っていた7月豪雨を自分のこととして考えるようになり防災への意識が高まると同時に、被災された方々が出来るだけ早く元の生活に戻れるようになればいいなと思いました。議会傍聴では、熊本のことなのに、それまで議会など見たこともなく、どんなことがあっているのかもしりませんでした。今回の議会では、新型コロナウイルスや7月豪雨のことが主な議題として取り上げられていましたが、それだけではなく、空港アクセス鉄道や県立高校再編なども取り扱われていて、熊本県の県政について多くのことを学びました。また、代表質問の午前と午後で空気が違ったり、午後は野次が多かったりと、県議会の中でもバチバチしていることがよくわかりました。

約2ヶ月間の活動を通して、色々な方とお話したり、関わる中で、少しは他者の立場や目線で物事を考

えられるようになったと思います。政治についての知識も増え、ニュースや新聞を読む時間が増えました。自分の将来についても考えを深めることができ、道が広がりました。また、未来国会や最終報告会などイベントにも来ていただき、気合いを入れて取り組むことができました。約2ヶ月間のインターンシップを受け入れてくださり本当にありがとうございました。とても濃い夏休みを過ごすことができました。

## インターンシップを終えて

熊本学園大学 2年 坂口友唯

私がこの議員インターンシップに参加する前の議員の方のイメージはあまり良いものではありませんでした。しかしこのインターンシップで岩田議員の活動に同行し、後援会や集会に参加することで普段どのような活動を行い、他の議員の方とはどのような会話をしているのかを知ることが出来、普段の生活の中では知ることのできないようなことを知れて、とても貴重な経験になりました。インターンシップを始めたばかりの頃は何もかもが初めてのことで何をすればよいのかもわからず不安を感じていたけれど、岩田議員と多く関わっていくうちに岩田議員の気さくさと優しさを感じ、日に日に活動が楽しくなっていました。8月25日に村上議員の事務所と合同で行われた車椅子講習では人生で初めて車椅子を漕ぎ、車椅子を漕ぐことがどれほど体力を使い、街中が身体障がい者の方にとって不便であることを身を持って体験できました。これはインターンシップに参加していないと感じることができなかったことだと思います。また、9月1日にボランティアとして八代に行きましたが、岩田議員が災害に合われた地に自ら足を運び、ボランティア活動をされているということを知り感動しました。コロナ騒動の中で活動を自粛されている中で災害地に行くことを躊躇される議員さんがいる中で岩田議員は災害地に足を運ぶことを決めた、活動の優先をされたことに対して私はこのような県民のことを第一に考えてくださるような議員さんが増えて欲しいと感じました。また、岩田議員は子育て家庭の支援にも力を注いでおり、毎月新ママへの食料物資の仕分けも行っており、自らが顔を出し、コミュニケーションを図ることで現場の声を聞き、政策の思案に行かされているのだと感じました。活動の中で今の政治について、女性議員ならではの視点で解説してくださったり、私たちインターン生の考えを聞いてくださったりと意見交換等も行い、とても勉強になりました。さらに初めて議会傍聴し、コロナ問題やダム問題のようなタイムリーの話題のみならず、県立高校のあり方問題や阿蘇くまもと空港についてなど、熊本県全体の時事問題を扱っていたため、近頃のコロナ禍以外のことについても学ぶことができ、勉強になりました。男性ばかりの県議会で数少ない女性議員さんでこれほどの活動をされている岩田議員の下でインターンシップ活動ができ、大変よい経験になりました。日本全体がコロナ禍で経済が滞っている中でこのインターンシップに参加し、できることは何かを自らで考え、行動することで一歩成長することができたのではないかと思います。恐らくコロナウイルスが広まっていなければさらに広い行動範囲でより多くの方と交流ができたのではないかと思います。岩田議員のご厚意である程度の活動を行うことができ、制限された中でも充実したインターンシップ活動が行えたことに感謝したいと思います。2か月間の活動でしたが、政治に多く触れ、自分がどれほど知識不足であるのかを痛感したため、岩田議員から学んだことを生かして政治に向き合っていこうと思いました。約2か月間本当にありがとうございました。